

令和6年第3回定例会
営業戦略農林水産委員会資料

	(頁)
1 諸般の報告	2

令和6年9月19日
営業戦略部

1 諸般の報告

(1) 観光誘客の促進

① 茨城アフターデスティネーションキャンペーン

デスティネーションキャンペーン（DC）は、JRグループと地域（県・市町村・観光事業者等）とが一体となって観光誘客に取り組む国内最大規模の観光キャンペーン。

昨年の茨城DCに引き続き、令和6年10月から12月にかけて「茨城アフターデスティネーションキャンペーン（アフターDC）」を実施する。

【実施期間】

プレDC	令和4年10月1日～12月31日
茨城DC	令和5年10月1日～12月31日
アフターDC	令和6年10月1日～12月31日

【茨城アフターDCの主な取組】

○特別企画の展開

地域・行政・JRが連携し、特別な体験企画を展開

- ・国営ひたち海浜公園で楽しむ秋の絶景コキア独占ツアー
- ・波のライトアップと体験型のイルミネーションを楽しむ「Night Park OARAI」
- ・臨時列車「風っこ号」乗車による「開運！億くじツアー」
- ・いばらきフラワーパーク等で極上グルメを味わう贅沢滞在ツアー等

○プロモーションの実施

- ・JR東日本管内駅等でのポスター掲出及びガイドブック設置（9月～12月）
※11月は全国JRグループ6社管内駅でポスター掲出
- ・「いばらき若旦那」とタイアップした観光宣伝
- ・Web・SNSや訪日旅行メディア等を活用した情報発信

○セレモニー・イベントの開催

- ・茨城アフターDC直前PRイベント（9月30日）
※「ジャパンレールカフェ東京」及び「イバラキセンス」において国内滞在中の外国人旅行者等を対象とした本県観光のPRイベントを開催
- ・茨城アフターDCオープニングセレモニー（10月5日）
※水戸駅において、キャンペーンを周知する式典や水戸駅発の企画列車のお見送りイベント等を開催

② インバウンドの取組

ア インバウンドの状況

本県における令和5年の外国人延べ宿泊者数は、コロナ禍前（令和元年）を上回り、急速に回復。

【本県の外国人延べ宿泊者数の推移】

（単位：人泊）

		R1	R4	R5（確報値）
		217,410	55,400	237,960
茨城県	うち台湾	34,070	4,150	42,070
	うち韓国	10,890	3,090	20,960
全国		115,656,350	16,502,920	117,751,450

出典：宿泊旅行統計調査（観光庁）

イ 重点市場等からの戦略的誘客促進

（1）韓国

○ゴルフセミナー・商談会の開催

- ・ 内 容：本県へのゴルフツアーの更なる造成及び商品販売の促進を図るため、セミナー及び商談会を開催
- ・ 期 日：令和6年7月30日（火）
- ・ 場 所：コリアナホテル（ソウル）
- ・ 参加者：現地旅行会社等 38社（48名）
県内事業者（ゴルフ場、宿泊施設、旅客運送業、旅行業等）14社（24名）
- ・ 結 果：商談件数 約120件

○重点市場インバウンド誘客促進事業

10月から宿泊費用の支援や、成田空港等からの送迎支援を始めるほか、現地においてプロモーションを実施。

【事業概要】

旅行割

実施期間	令和6年10月～令和7年2月
対 象	県内宿泊施設に宿泊する韓国からのインバウンド客
割 引 等	最大50%割引5,000円程度/泊・人 ※宿泊上限5泊

送迎支援

実施期間	令和6年10月～令和7年2月
対 象	新たに成田空港等からの送迎を始める県内宿泊施設やゴルフ場
支 援 額	片道／1ツアー当たり [県南・鹿行地域] 6,000円 [県央・県西地域] 9,000円 [県北地域] 15,000円

(2) 台湾

○台湾商談会

- ・内 容：現地旅行会社と県内事業者の商談会
- ・期 日：台北 令和6年9月3日（火）
高雄 令和6年9月4日（水）
- ・場 所：民生科技大樓14階創新館（台北）
高雄福華大飯店（高雄）
- ・参加者：現地旅行会社等 約100社（約140名）
県内事業者（観光事業者、宿泊施設、旅客運送業等）
33社（45名）
- ・結 果：商談件数 約730件

③ 茨城空港の現状

ア 令和6年度国内線冬ダイヤ

10月27日からの国内線冬ダイヤにおいて、直行便の4路線7往復及び乗継便の長崎・鹿児島・宮古（下地島空港）を維持。

札幌（新千歳）	2往復/日
神戸	3往復/日
福岡	1往復/日
那覇	1往復/日
長崎	1.5往復/日 ※神戸乗継
鹿児島	1往復/日 ※神戸乗継
宮古（下地島）	1往復/日 ※神戸又は那覇乗継

イ 茨城空港発着遊覧飛行及びチャーター便の運航

○フジドリームエアラインズ（FDA）

【茨城空港発着遊覧飛行の運航】

- ・内 容：茨城県内及び富士山方面を周遊する約2時間のツアー
- ・期 日：令和6年10月11日（金）及び12月10日（火）

【小松へのチャーター便の運航】

- ・内 容：北陸の名所をめぐる3日間のツアー
- ・期 間：令和6年10月11日（金）～13日（日）※2泊3日

【広島へのチャーター便の運航】

- ・内 容：厳島神社・宮島・萩などをめぐる3日間のツアー
- ・期 間：令和6年12月7日（土）～9日（月）※2泊3日

【種子島へのチャーター便の運航】

- ・内 容：種子島と屋久島をめぐる3日間のツアー
- ・期 間：令和6年12月10日（火）～12日（木）※2泊3日

ウ 茨城空港のあり方検討会の第1回開催結果

【検討会の目的】

- ・令和5年10月から、民航機の着陸ルールの弾力的な運用が開始された。
- ・これを踏まえ、新たなチャーター便や定期便の路線誘致により一層取り組むとともに、本県のさらなる発展のために、有識者、県内経済・観光団体や空港関係者等による検討会を設置し、茨城空港の今後の進むべき方向性（将来ビジョン）について検討を行っていく。

【開催概要】

- ・期 日：令和6年8月1日（木）
- ・出席委員：

有 識 者	茨城大学教授 【座長】 桜美林大学教授
地元自治体	小美玉市
経済・観光団体	茨城県経営者協会 茨城県観光物産協会 日本旅行業協会
エアライン	スカイマーク(株) タイガーエア台湾日本総代理店(株)ワールドコンパス)
空港関係者	茨城県開発公社 羽田タートルサービス(株) 三愛アビエーションサービス(株)

※オブザーバーとして、国土交通省、防衛省及びCIQ関係機関が出席

【スケジュール】

日程	検討議題（予定）
第1回（8月1日）	・茨城空港の現状 ・茨城空港の今後果たすべき役割
第2回（10月頃）	・役割を果たすために必要な取組や空港機能
第3回、4回 （12月頃～2月頃）	・茨城空港の今後進むべき方向性（将来ビジョン（案））について

※検討会からの提言を踏まえ、県として将来ビジョンを決定

【主な意見】

- ・茨城空港は、地域経済の活性化や観光振興のほか、災害対応の拠点空港としての役割も担っている。
- ・住民の方々が利用したいと思える空港になるよう、路線便数を増やし、交通ネットワークやインフラを含めて拡大してほしい。
- ・まちづくり全体の中で、空港の位置づけを考えることが必要。

(2) プロモーションの展開

① アンテナショップ「IBARAKI sense」における魅力発信

ア 県産品のメディア向けPRイベントの開催

○納豆PRイベント

納豆の日（7/10）に合わせ、タレントをゲストに迎え、納豆をテーマとしたトークセッションや、おススメ納豆商品の試食などを実施。

【開催概要】

- ・期 日：令和6年7月10日（水）
- ・ゲスト：ダンディ坂野、スギちゃん
- ・内 容：納豆に関するトークセッション&対決企画
おススメ納豆商品の試食
「推し納豆セット」の数量限定販売 等

- ・メディア露出：首都圏ネットワーク（NHK）、Day Day.（日本テレビ）、Nスタ（TBS）、グッド！モーニング（テレビ朝日）等
270件



○常陸乃国いせ海老PRイベント（農林水産部と連携実施）

常陸乃国いせ海老フェア（7/13～9/30）に合わせ、いばらき大使をゲストに迎え、イセエビをテーマとしたトークセッションや、期間限定メニュー「常陸乃国いせ海老天ぷらそば」の試食などを実施。

【開催概要】

- ・期 日：令和6年8月20日（火）
- ・ゲスト：檜山沙耶（いばらき大使）
- ・内 容：イセエビに関するトークセッション
更科堀井監修「常陸乃国いせ海老天ぷらそば」の試食
（ダイニングにて期間限定で提供中） 等

- ・メディア露出：日刊スポーツ、スポーツニッポン 等 98件



イ 台湾観光客向けの情報発信

都内インバウンド客の来店促進のため、台湾向け訪日観光情報サイト「樂吃購(ラーチーゴ)！日本」において、メロンパフェやほしいもなどIBARAKI senseで提供しているメニューや商品などの情報を掲載。

(3) ブランド化・販路拡大の取組

① 「常陸牛 煌」のPR

ア レストランフェア

首都圏と県内のレストランにおいて、毎月2店舗程度ずつリレー形式で「常陸牛 煌レストランフェア」を実施。

【開催概要】

- ・期 間：令和6年7月～令和7年2月
- ・店舗数：23店舗（9月19日時点）

イ メディア向けイベント

レストランフェア初日に、メディアを対象としたキックオフイベントを開催。

【開催概要】

- ・期 日：令和6年7月4日（木）
- ・場 所：MUS MUS（東京都千代田区）
- ・ゲスト：ゆうちゃみ、なすなかにし
古屋聖良（ミシュラン掲載店「クラージュ」シェフ）
- ・メディア露出：Live News イット！（フジテレビ）、THE TIME（TBS）
グッド！モーニング（テレビ朝日）等 192件

② 「恵水」のPR

ア PRイベント

県オリジナル品種の梨「恵水」をPRするため、パリ五輪の新競技で話題となったブレイキンを子どもたちが体験し、汗をかいた後の水分・栄養補給として「恵水」を振舞うイベントを開催。

【開催概要】

- ・期 日：令和6年8月29日（木）
- ・場 所：GREEN SHARE MINAMI AOYAMA（東京都港区）
- ・ゲスト：キンタロー。、稲村亜美、中野瑞樹（フルーツ研究家）
- ・参加者：小学生12名
- ・内 容：梨に関するトークセッション
パリ五輪新競技「ブレイキン」の体験レッスン
「恵水」の試食
- ・メディア露出：めざましテレビ（フジテレビ）、す・またん！（読売テレビ）
等 149件

イ 「幻の恵水」プロジェクト

県と産地とが一丸となり、1万果に1果と言われる希少な「幻の恵水」の栽培に挑戦するプロジェクトを実施。

【販売価格】

- | | | |
|--------|--------------|--------------|
| 京橋千疋屋 | 10,800円/玉 | |
| | 令和6年9月7日（土）～ | 1玉のみ販売 |
| 伊勢丹新宿店 | 10,800円/玉 | |
| | 令和6年9月7日（土） | 1玉のみ販売、1日で完売 |

ウ 京橋千疋屋における「特選恵水」、恵水パフェ等の販売

- ・期 間：令和6年8月27日（火）～ 青果販売
令和6年9月10日（火）～ 恵水パフェ等の販売

エ その他の取組

○有名フルーツタルト専門店「キルフェボン」での恵水タルトの販売

- ・期 間：令和6年9月1日（日）～15日（日）全11店舗で開催

○「イオンモール土浦」での恵水を中心とした県産梨の販売

- ・期 間：令和6年9月19日（木）～23日（月）

③ 茨城をたべよう収穫祭～いばらき魅力まるごと出張所～の開催

豊富な農林水産物や体験コンテンツなど本県の魅力を広く発信し、県産農林水産物の認知度向上や販路の拡大を図るため、首都圏においてイベントを開催。

【開催概要】

- ・期 間：令和6年10月26日（土）、27日（日）
- ・場 所：ウマイルスクエア（東京都品川区 大井競馬場内）
- ・出店者数：125事業者（予定）
- ・内 容：グルメブースやマルシェブース、観光PR、収穫体験 等



写真はイメージです。

大洗しらす丼

25年連続メロン生産量日本一
メロンまるごとクリームソーダ

茨城県の
クラフトビールが大集合!

茨城の
新鮮野菜

いばらき
魅力まるごと
出張所

鹿島灘の
はまぐり焼き

茨城をたべよう 収穫祭

首都圏の台所

IBARAKI

黒毛和牛の
最高級ブランド
常陸牛

茨城名物
あんこう鍋

栗の収穫量日本一
モンブラン

2024年秋、
いばらきの美味しさ、楽しさが
まるごと東京に!

家族で楽しめる
体験イベントも開催!

丸太切り体験

鹿島アントラーズコーナー
キックターゲット

他にも企画が
盛りだくさん!

トラザメに触れる
タッチングプール

逆バンジージャンプ

磯山さやか

田所あずさ

茨城出身のスペシャルゲストも登場!

2024
10/26(土) 27(日)

いばらきのウマイが大集合! /

大井競馬場ウマイルスクエア
11:00~18:00

HPIはこちらから▼



雨天決行 天候などの事情により、開催中止や内容を変更させていただく場合がございます。

茨城をたべよう収穫祭

本事業はエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を目的とする事業です。

主催 茨城県 後援 品川区、いばらき食の魅力発信協議会 問合せ先 茨城県営業戦略部販売戦略課 TEL 029-301-3945

アクセス

会場：大井競馬場 ウマイルスクエア
〒140-0012 東京都品川区勝島 2-1-2

電車・モノレール

東京モノレール：「大井競馬場前」駅下車、徒歩2分
京浜急行：「立会川」駅下車、徒歩12分

自動車

※無料駐車場 1,400 台あり

千葉方面・新宿方面から▼
首都高速湾岸線 大井南 ICを下りて5分

横浜方面から▼
首都高速1号羽田線 平和島 ICを下りて5分



見どころ

茨城県は令和4年の農業産出額が全国第3位で、東京都卸売市場でのシェアは20年連続で第1位と、まさに“首都圏の台所”として様々な食材を皆様の食卓にお届けしています。そして、さらに首都圏の皆様に茨城県の魅力を知っていただくため、“美味しさ&楽しさ”をまるごとギュッと詰め込んだ魅力発信イベント『茨城をたべよう収穫祭』を東京都内で初開催いたします。

“茨城の美味しさ”をその場でお楽しみいただけるグルメブースや、その美味しさをご自宅にお持ち帰りいただける“いばらきマルシェ”、そして農産物の収穫体験ができる体験コーナーや県観光PRコーナーのほか、100店以上が集結し、茨城県をまるごと楽しめる2日間となっています。



酒趣 SYU-SYU

25年連続
メロン生産量 日本一
メロンまるごと
クリームソーダ

キッチンカーも 多数出店!

とんかつ憲進

茨城県が誇る
ブランド豚肉
「常陸の輝き」を使用した
とんかつ弁当

栗乃薫

笠間産和栗を使った
賞味期限15分の
モンブランを提供

...and more!

同時開催 東京メガイルミ



営業時間 16:30～21:00 (最終入場 20:00)

2022-2023年、2023-2024年の2年連続
「全国の行ってよかったイルミネーションランキング」第1位
「全国の行ってみたいイルミネーションランキング」第1位
(Walkerplus調べ)

に輝いた東京メガイルミも同時開催! 入場無料で楽しめます。

令和6年第2回定例会
営業戦略農林水産委員会資料

	(頁)
1 【諸般の報告】 観光誘客の促進について	2
2 【諸般の報告】 令和5年度フィルムコミッション 活動実績について	6

令和6年9月19日
営業戦略部

項 目	観光誘客の促進について				
1	令和5年観光客動態調査結果（暦年集計）				
	令和5年の入込客数（延べ人数）は、前年比約23%増の6,106万人、観光消費額は、前年比約21%増の3,576億円（過去最高額）となった。				
	（1）観光客の入込状況				
	ア 入込客数（延べ人数）				
	R 1 年	R 4 年	R 5 年	R5/R4年比 R5/R1年比	
	6,443万人	4,964万人	6,106万人	123.0% 94.8%	
	※県内の観光地点及び行祭事・イベントの入込客数を単純合計した総数。				
	イ 入込客数（実人数）				
	区 分	R 1 年	R 4 年	R 5 年	R5/R4年比 R5/R1年比
	実人数	4,027万人回	3,586万人回	3,430万人回	95.7% 85.2%
	うち宿泊	491万人回	447万人回	598万人回	133.7% 121.7%
	うち日帰り	3,536万人回	3,139万人回	2,833万人回	90.3% 80.1%
	※観光地点（行祭事・イベントを除く）を訪れた実際の入込客の人数。				
	※1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地点を訪れた場合でも1人回とする。				
	（2）観光消費額				
	R 1 年	R 4 年	R 5 年	R5/R4年比 R5/R1年比	
	2,487億円	2,958億円	3,576億円	120.9% 143.8%	
	※入込客数（実人数）×1人当たり消費単価により算出。				
	【参考】茨城DC期間（10～12月）の実績				
	R 1 年	R 4 年 (ブレDC)	R 5 年 (DC)	R5/R4年比 R5/R1年比	
	延べ 入込客数	1,572万人	1,510万人	1,906万人	126.2% 121.2%
	観光 消費額	500億円	933億円	1,105億円	118.5% 221.1%
	※R1年は台風19号の影響あり。				

2 インバウンドコンテンツ造成支援事業の実施状況について

アフターコロナにおける観光需要を効果的に観光地へ取り込み、地域の「稼ぐ力」を向上させるため、新たなインバウンド向けコンテンツの造成や国内向けコンテンツの転換・高付加価値化等を支援。

(1) 予算額

130,000千円（令和6年度当初、地方創生臨時交付金、国10/10）

(2) 事業内容

ア 対象経費 本県観光のフラッグシップとなるコンテンツ造成費
イベントや体験メニューの造成、転換、高付加価値化
イ 補助率 1/2（上限10,000千円/件）
ウ 募集期間 令和6年5月15日（水）～6月19日（水）
エ 応募件数 15件
オ 選定状況 7件（概要は下表のとおり）

実施主体	市町村	事業概要
株式会社日本旅行ビジネスクリエイト	水戸市	日本語学習と日本（水戸）での生活体験を組み合わせた新たな旅行商品の造成
一般社団法人茨城創生経営者連合会	水戸市	世界記録を目指した着物行列、書道・茶道等の日本文化体験
第30回ひたちなか祭り実行委員会	ひたちなか市	花火とドローンを組み合わせたショーや和太鼓や山車などの祭り文化の体験
まちづくり鹿嶋株式会社・かみす舞っちゃげ祭り実行委員会	鹿嶋市・神栖市	鹿島神宮での特別祈禱や地域食材を使用した直会饗膳、かみす舞っちゃげ祭りへのインバウンド誘客
株式会社いたこ	潮来市	嫁入り舟を活用したインバウンド向けウェディングプランの造成
イヴレスホスピタリティ合同会社	行方市	霞ヶ浦湖畔のサイクリスト向け宿泊拠点の整備
公益財団法人いばらき文化振興財団	大洗町	アクアワールド・大洗におけるバックヤードツアーや館内サービス等の多言語化受入環境整備

○スケジュール

令和6年7月～ 補助事業開始
コーディネーター事業者等による伴走支援
令和7年2月末 補助事業実績報告

3 花絶景観光支援事業の実施状況について

急速に回復するインバウンド需要等を効果的に取り込むため、本県が誇る「花絶景」を切り口としたコンテンツの造成、高付加価値化や観光客の受入環境整備を支援。

(1) 予算額

100,000千円（令和6年度6月補正、地方創生臨時交付金、国10/10）

(2) 事業内容

ア 対象経費 国内外に訴求する花絶景コンテンツ造成
インバウンド受入環境の整備
イ 補助率 10/10（上限8,000千円/件）
ウ 募集期間 令和6年6月20日（木）～7月22日（月）
エ 応募件数 24件
オ 選定状況 10件（概要は下表のとおり）

実施主体	市町村	事業概要
ひたちなか市観光協会	ひたちなか市	夜のひたち海浜公園を貸切で公開し、コキアライトアップ、音楽鑑賞、食を提供
株式会社リーフ	つくば市	世界最大級の牡丹や冬牡丹を「幻の牡丹」としてブランディング、日本を代表する牡丹園へリニューアル
一般社団法人ハンギングバスケット協会茨城県支部	那珂市 外	花一面の上空を滑り降りる「花絶景ジップライン」の整備、花池で遊ぶ「花絶景水上アクティビティ」を造成
茨城県フラワーパーク指定管理業務共同事業体	石岡市	いばらきフラワーパークのキャビン、シークレットガーデンを花々による「高感度な贅沢空間」に改修
見てみようよ！常総市の会	常総市 外	下妻のポピー畑のブランディングなど常総線を利用した県西部地域の花絶景観光ルートを造成
タビットツアーズ株式会社	潮来市 外	潮来のあやめと「いも×花」を組み合わせた「花絶景オリジナルスイーツ」の開発など、鹿行の花絶景ツアーを造成
株式会社さとゆめ	大子町	大子の隠れた花絶景「りんごの花園」をブランディング、大子町でないと見られない・撮れない空間を造成
一般社団法人古河市観光協会	古河市	茨城の小京都「古河」の花桃を和の演出と組み合わせるブランディング、花桃を活かした商品の造成
水戸の梅まつり実行委員会	水戸市	梅の幻想的な雲海ライトアップと富裕層向け工芸体験プランなどを組み合わせて販売
株式会社エイチ・アイ・エス	水戸市・つくば市 外	「常陸国シリーズ×花」を組み合わせるメニューの提供など、花絶景周遊ツアーを造成

○スケジュール

令和6年9月～ 補助事業開始

コーディネート事業者等による伴走支援、プロモーション

令和7年2月末 補助事業実績報告

項目	令和5年度フィルムコミッション活動実績について				
1 令和5年度フィルムコミッション活動実績					
(1) ロケ支援実績					
項目	実績			増減	
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対令和3年度比	対令和4年度比
ロケ支援 作品数	544作品	619作品	600作品	+56作品 110%	▲19作品 97%
ロケ延べ 日数	1,046日	1,524日	1,311日	+265日 125%	▲213日 86%
(2) 経済波及効果					
項目	推計額			増減	
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対令和3年度比	対令和4年度比
経済波及 効果	約3.0億円	約8.2億円	約4.5億円	+1.5億円 150%	▲3.7億円 55%
(3) 主な支援作品					
○映画					
・「もしも徳川家康が総理大臣になったら」 (ロケ地：三の丸庁舎(水戸市))					
・「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」 (ロケ地：旧北浦三育中学校(行方市)、予科練平和記念館(阿見町)など)					
○ドラマ					
・「光る君へ」(NHK) (ロケ地：新落合橋(常陸太田市)、つくばみらい市立歴史公園(つくばみらい市)など)					
・「VIVANT」(TBS) (ロケ地：三の丸庁舎(水戸市)、牛久シャトー(牛久市)など)					
・「仮面ライダーガッチャード」(テレビ朝日) (ロケ地：茨城県庁(水戸市)など県内各地)					

令和6年第3回定例会 営業戦略農林水産委員会資料
県出資法人 事業実績・事業計画の概要

(頁)

- 1 公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構 …… 2

令和6年9月19日
営業戦略部

県出資法人 事業実績・事業計画の概要

販売戦略課

1 出資法人の概要			
① 法人の名称	公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構		
② 所在地	茨城県水戸市桜川二丁目2-35		
③ 設立年月日	令和2年4月1日		
④ 代表者名	理事長 岩下 泰善		
⑤ 基本財産	38,000千円		
⑥ 設立根拠	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第44条		
⑦ 設立目的・経緯	<p>県内中小企業の海外展開、経営革新及び創業の促進や経営基盤の強化に関する事業を行い、もって茨城県の産業の振興に寄与する。</p> <p>〔令和2年4月1日に一般財団法人として設立 同年7月1日公益財団法人化 同年8月1日茨城県中小企業振興公社を吸収合併〕</p>		
⑧ 組織	役職員数	理事 11人	監事 2人 常勤職員 23人 (うち県職員派遣 1名)
	<p><組織図></p> <p>理事長 — 専務理事 — 常務理事兼事務局長 — 総務企画課 (3名) ※課長含む (副知事) (公募採用) (県OB)</p> <p>事務局次長 — グローバル展開一課 (7名) ※課長含む、うち1名ジェトロ出向中 (県現役派遣) [農産物・加工品] うち、1名県へ出向中</p> <p>グローバル展開二課 (10名) ※課長含む、うち1名金融機関派遣 [工業製品]</p>		
⑨ 出資状況	38,000千円 (茨城県が全額出資)		
⑩ 資産状況 (令和6年3月末現在)	(単位:千円)		
	金額	摘要	
流動資産	229,156		
固定資産	7,793,400		
資産合計	8,022,556		
流動負債	197,021		
固定負債	6,185,305		
負債合計	6,382,326		
正味財産	1,640,230		

2 令和5年度事業実績

(1) 事業内容

ア 海外展開支援事業

食品及びものづくり分野の中小企業等の海外展開を促進するため、海外展開推進員による支援や展示商談会を実施した。

- ・海外での販路開拓支援：成約77件、年間取引額347,019千円
- ・展示商談会への出展支援：6回
- ・貿易、投資相談件数：163件

イ いばらきチャレンジ基金事業

総額75.1億円の基金の運用益及び県補助金をもとに、中小企業が行う新技術・新製品開発や海外販路開拓の取組を支援した。

<助成実績>

プログラムの名称	新技術・新製品開発促進事業(複数年度型)※	新技術・新製品開発促進事業(単年度型)	海外販路開拓促進事業	計
件数(件)	未確定	14	19	33
金額(千円)	未確定	32,149	24,643	56,792

※複数年度型は令和5年度交付決定5件、21,988千円(確定は令和6年度)

ウ 受発注マッチング事業

中小企業の受注機会の拡大を図るため、取引のあっせんや商談会等を実施した。

- ・あっせん件数：1,346件、成立件数：159件(年間受注金額：1,174,740千円)

エ 新事業支援事業

専門家(中小企業エキスパート)の派遣により、経営面・技術面の課題の解決を支援するとともに、新型コロナの影響を受け、経営課題に直面する中小企業に対して、1回無料で専門家を派遣する事業を実施した。

- ・中小企業エキスパートの派遣：142件、うちコロナ支援40件
延べ：759日、うちコロナ支援40日

オ よろず支援拠点事業

構内に「茨城県よろず支援拠点」を設置し、経営相談に対して総合的な支援を行うとともに、関係機関との連携による研修会や各種セミナーを開催した。

- ・相談対応件数：15,415件
- ・研修会、セミナーの開催：69回

カ 知財総合支援事業

知財支援専門員が弁理士等の専門家や支援機関と連携して知的財産に関する課題の解決を図るとともに、開放意思のある特許等の発掘や特許技術移転の仲介支援を行った。

- ・相談支援件数：3,185件
- ・開放特許の登録・データベース化：公開数807件
- ・特許技術移転のあっせん・仲介：44件

キ 中小企業情報発信事業

国、県等の中小企業支援策等の情報提供を行ったほか、受発注情報等の発信、自社のPR等を支援するオンライン上の「茨城県企業データベース」の活用促進を図った。

- ・茨城県企業データベースの登録件数：1,987件
- ・相談窓口での企業・支援機関、支援施策等に関する情報提供：369件

(2) 収支状況

(単位：千円)

	金額	摘要
基本財産運用益	37	
受取補助金等	545,026	
受取負担金	11,975	
その他の収入	26,196	
経常収益計①	583,234	
事業費	503,523	
管理費	78,307	
経常費用計②	581,830	
当期経常増減額③ (①-②)	1,404	
経常外収益計④	0	
経常外費用計⑤	0	
当期経常外増減額⑥ (④-⑤)	0	
法人税等⑦	0	
当期一般正味財産増減額 (当期利益)⑧ (③+⑥-⑦)	1,404	
正味財産期首残高⑨	1,643,662	
当期指定正味財産増減額 ⑩	△4,836	
正味財産期末残高⑪ (⑧+⑨+⑩)	1,640,230	

※端数処理の関係で内訳と合計等が一致しない場合がある。

(3) 補助金等の受入状況

(単位：千円)

	金額	摘要
出資金	0	
補助金	328,853	県補助金
受託金	38,423	県受託金
貸付金	0	
損失補償限度額 年度末残高	0	

3 令和6年度事業計画

(1) 事業内容

ア いばらきグローバルビジネス推進事業

海外展開にチャレンジする食品分野の中小企業に対し、海外展開推進員による伴走支援、展示商談会への出展、海外展開に関する相談対応や海外展開セミナー等による外対応力向上などにより総合的に支援する。

- ・海外展開推進員の配置（3人）
- ・展示商談会への出展支援（4回）
- ・貿易投資相談（随時）
- ・海外展開セミナーの開催（4回）

イ ものづくり海外展開推進事業

海外展開にチャレンジするものづくり分野の中小企業に対し、海外展開推進員による伴走支援や大規模展示商談会県ブースへの共同出展、海外展開の普及啓発セミナーの実施等により総合的に支援する。

- ・海外展開推進員の配置（4人）
- ・展示商談会への出展支援（2回程度）
- ・海外情報発信の強化（随時）
- ・海外展開セミナーの開催（4回）

ウ いばらきチャレンジ基金事業

総額約75.1億円の基金の運用益及び県補助金をもとに、中小企業が行う新技術・新製品開発や海外販路開拓の取組を支援する。

- ・助成予定額：60,000千円（県補助分）＋22,000千円（基金運用益分）
- ・助成率：2/3
- ・助成限度額：

新技術・新製品開発促進事業（複数年型）	500万円
新技術・新製品開発促進事業（単年度型）	250万円
海外販路開拓促進事業	150万円

エ 中小企業エキスパート派遣事業

中小企業が抱える経営・技術等の課題に対して、専門家（中小企業診断士、管理技術、設計技術等の専門家）を派遣して課題解決を支援する。

- ・専門家（中小企業エキスパート）の派遣（640日）

オ よろず支援拠点事業

「茨城県よろず支援拠点」を機構内に設置し、中小企業者等の経営相談に対してワンストップで対応するとともに、支援機関・専門家等の連携体制の強化、能力向上を図る。さらに、成長志向企業に対する伴走支援を実施する。

- ・コーディネーター等の配置（35人）
- ・支援機関・専門家等との連携体制の強化
（連携フォーラム（1回）、連携パートナー研修会（1回））
- ・成長志向企業への伴走支援（随時）

カ ものづくり産業マッチング支援事業

受発注情報の収集と取引のあっせんを実施するとともに、県内外の発注企業及び県内進出企業からの情報収集を継続的に実施することにより、発注企業のニーズ把握や発注案件の開拓を行う。

- ・広域商談会商談会の開催（1回）
- ・取引紹介あっせん（随時）
- ・受発注取引促進のための調査及び情報収集（3回）
※県内産業支援機関に外部委託

(2) 収支計画

(単位：千円)

	金額	摘要
基本財産運用益	37	
受取負担金	7,907	
受取補助金等	640,564	
事業収益	200	
その他の収入	28,719	
経常収益計①	677,427	
事業費	601,992	
管理費	74,252	
経常費用計②	676,244	
当期経常増減額③ (①-②)	1,183	
経常外収益計④	0	
経常外費用計⑤	0	
当期経常外増減額⑥ (④-⑤)	0	
法人税等⑦	0	
当期一般正味財産増減額 (当期利益)⑧ (③+⑥-⑦)	1,183	
正味財産期首残高⑨	1,633,843	
当期指定正味財産増減額 ⑩	△7,336	
正味財産期末残高⑪ (⑧+⑨+⑩)	1,627,690	

(3) 補助金等の受入予定

(単位：千円)

	金額	摘要
出資金	0	
補助金	328,210	県補助金
受託金	139,140	県受託金
貸付金	0	
損失補償限度額 年度末残高	0	